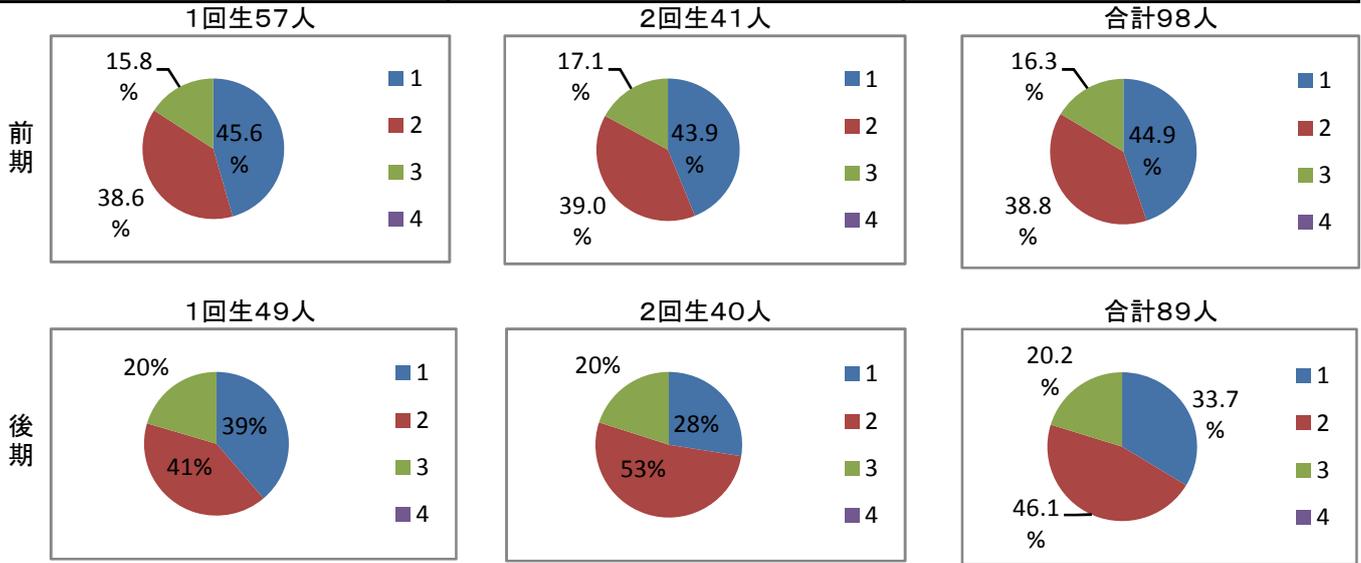


全体アンケート

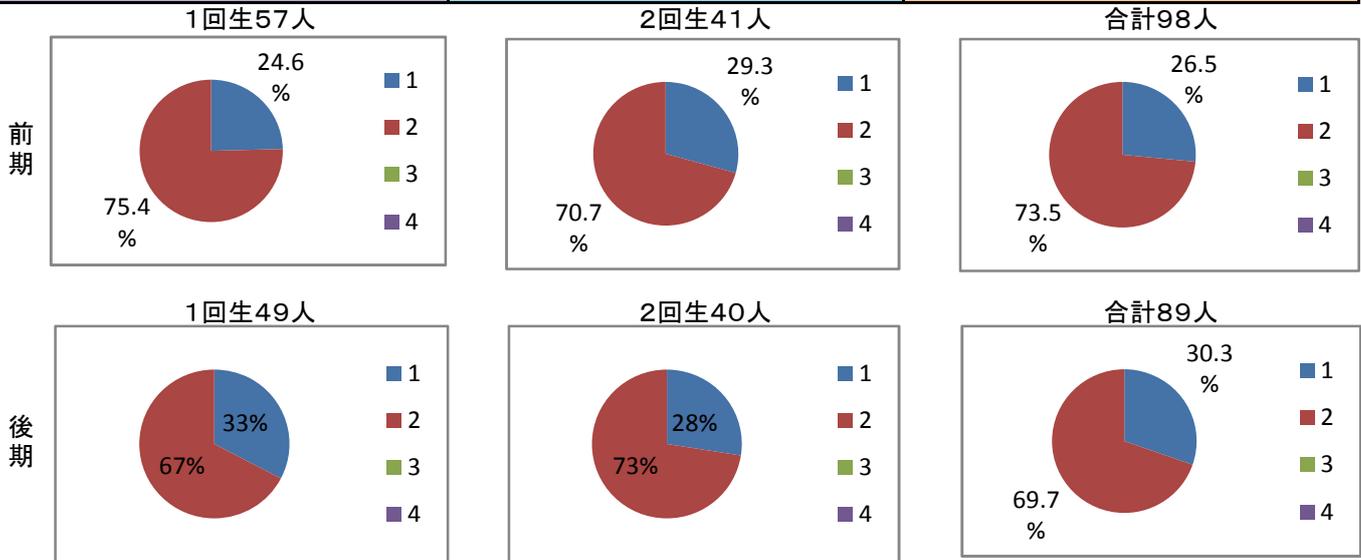
1 あなたの所属はどのコースですか。

1, 授業力高度化コース	2, 生徒指導力高度化コース	3, 学校経営力高度化コース
4,	5,	6,



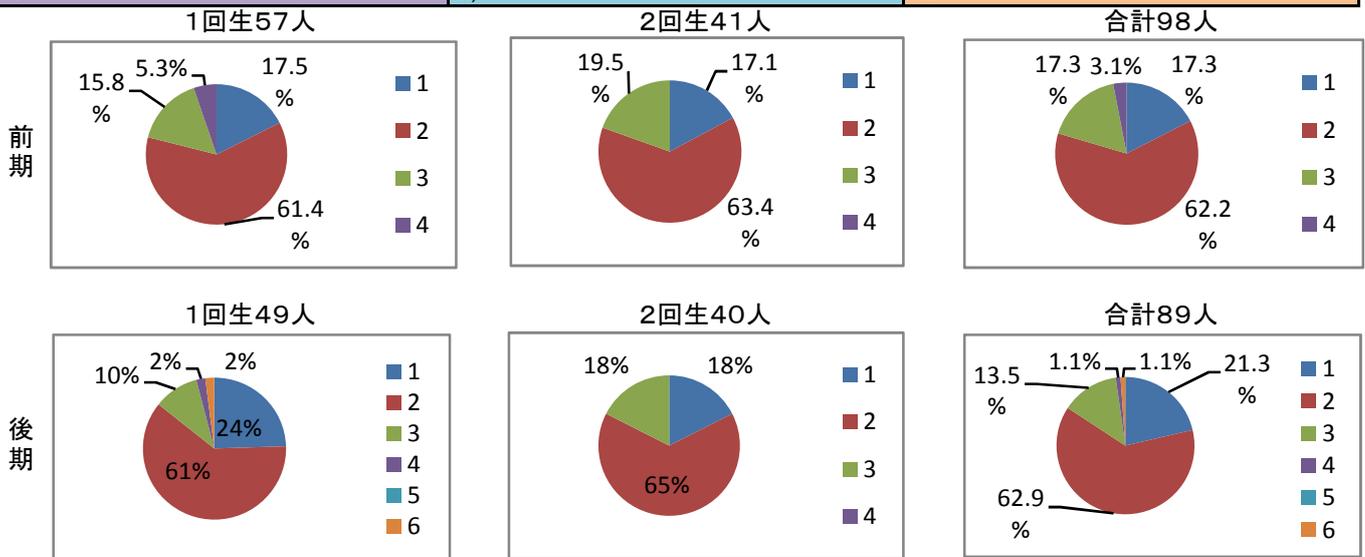
2 あなたは現職ですか。それともストレートマスターですか。

1, 現職	2, ストレートマスター	3,
4,	5,	6,



3 授業内容は、入学前に期待していた通りですか。

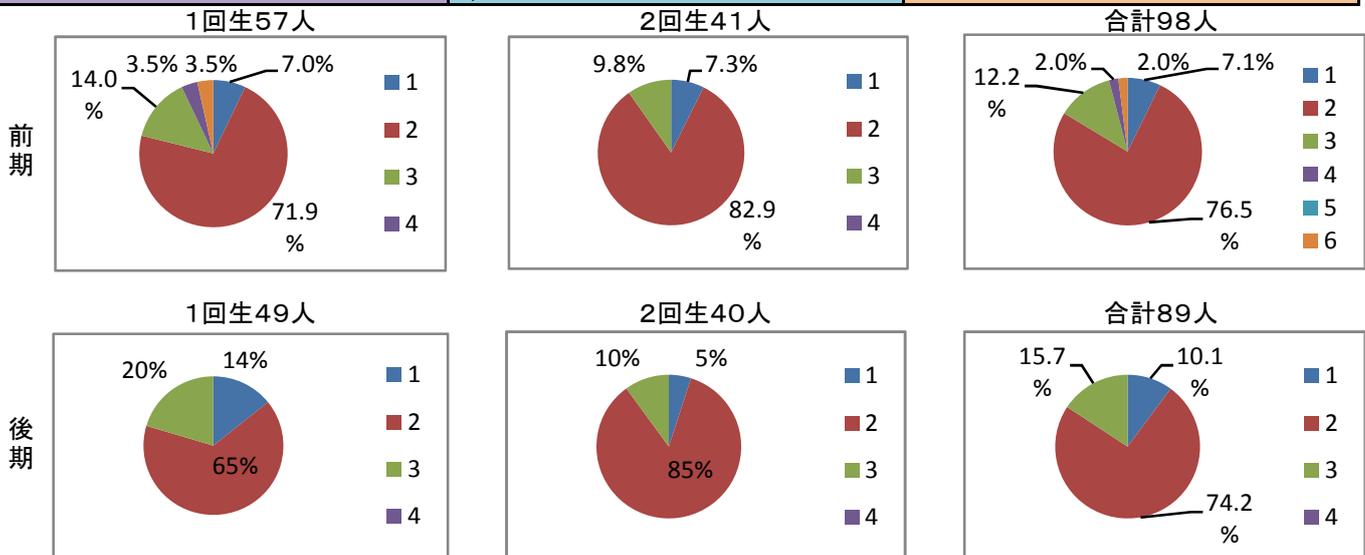
1, 期待以上だった	2, まあまあ期待通りだった	3, 少し期待外れだった
4, はずれだった	5,	6, 無回答



昨年と比較しますと、全体で「期待以上だった」「まあまあ期待通りだった」とする肯定的回答が、66%から84%に増えています。

4 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。

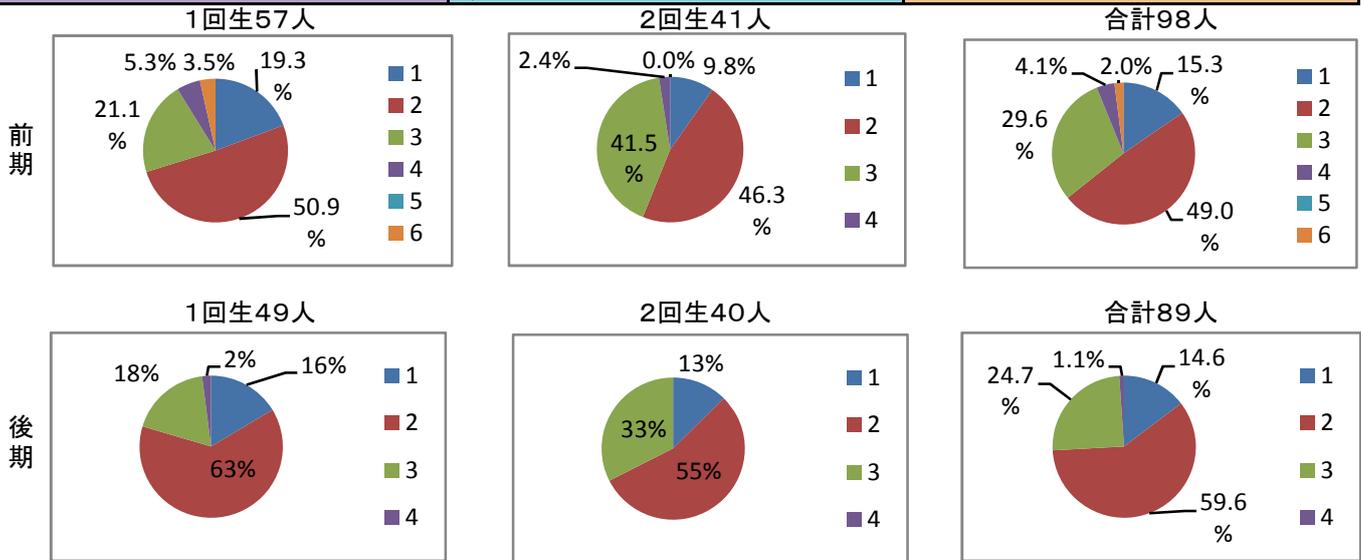
1, とても難しかった	2, やや難しかった	3, やや易しかった
4, とても易しかった	5,	6, 無回答



授業アンケートと同様に、全体にやや難しいものとなっています。昨年の反省をもとに、授業者はやや難しいとされることを目標に工夫して授業を行っているはずですので、その成果だと考えられます。

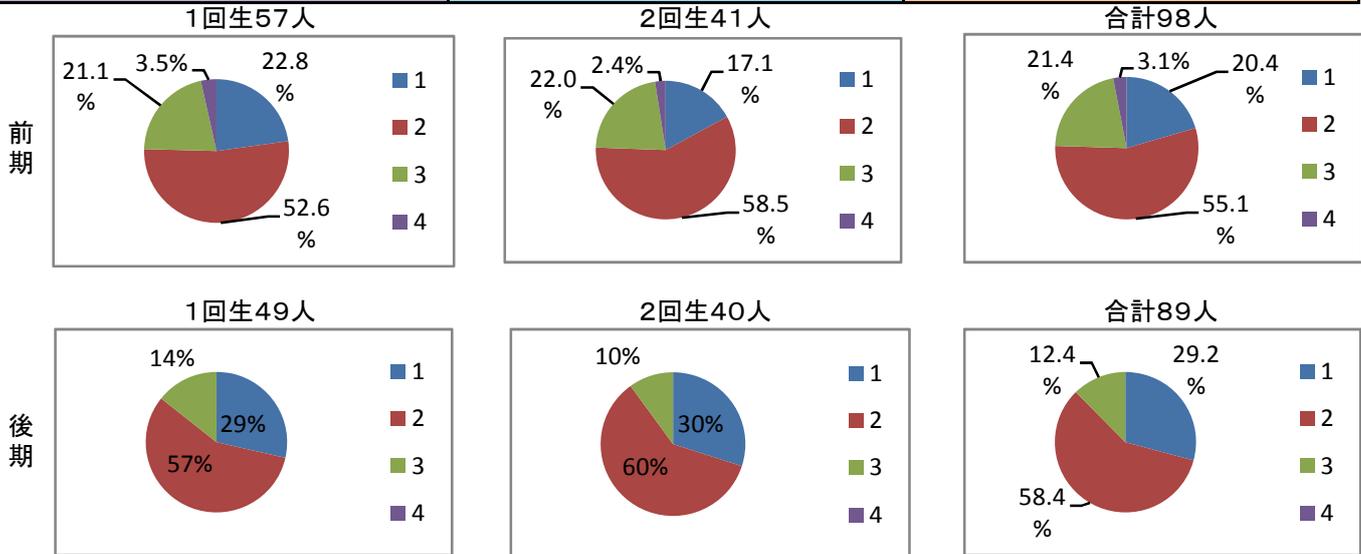
5 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



6 教育課程(カリキュラム)は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

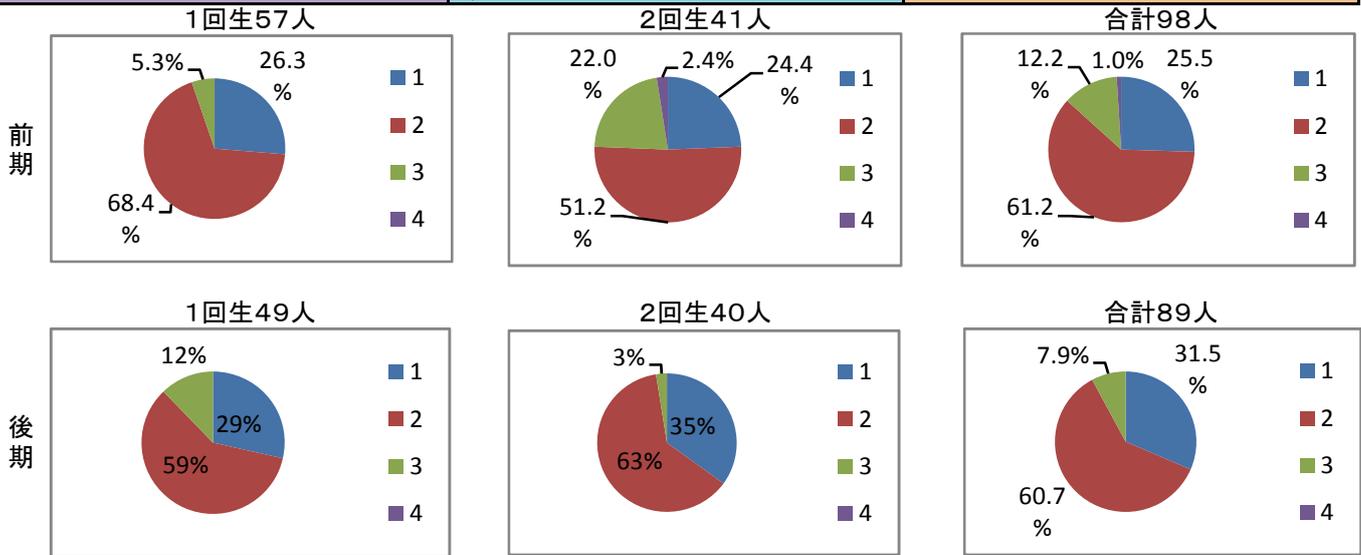
1, とてもそう思う	2, ややそう思う	3, あまりそう思わない
4, まったくそう思わない	5,	6, 無回答



全体に教育課程は有力な新人教員及びスクールリーダーになるのにふさわしいという回答でしたが、約1割の院生が「あまりそう思わない」と回答しています。カリキュラムのどの部分がふさわしくないのか、あるいはどの部分が不足しているのか、今後検証が必要です。

7 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていきますか。

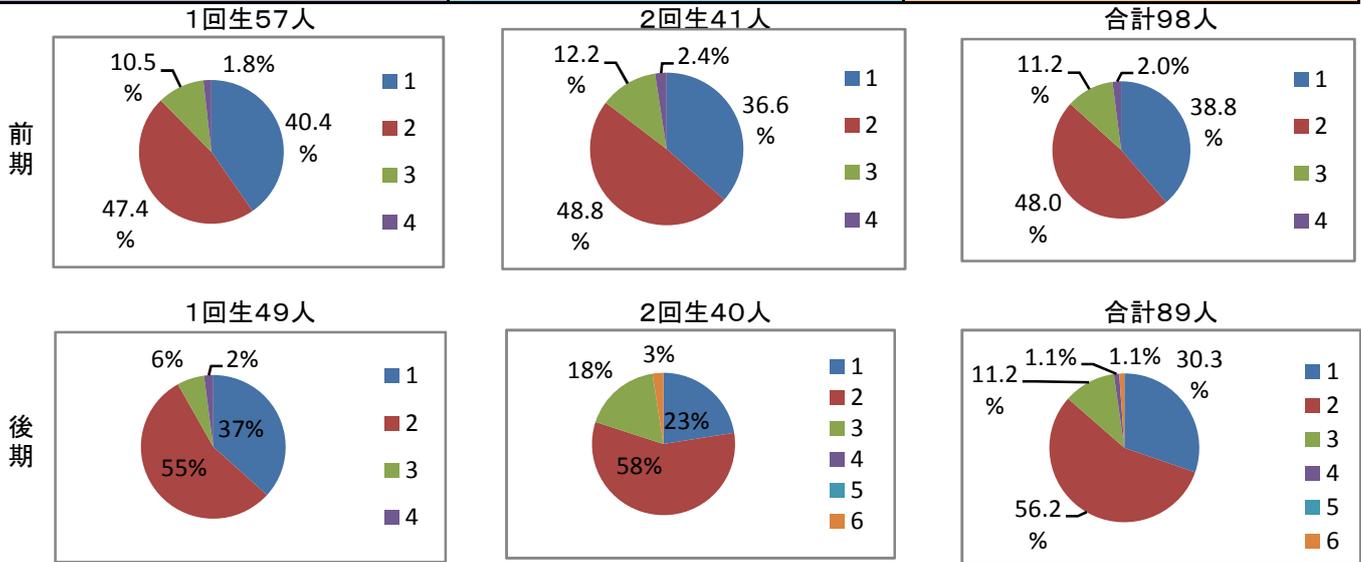
1, とてもそう思う	2, ややそう思う	3, あまりそう思わない
4, まったくそう思わない	5,	6, 無回答



教育現場の課題を積極的に取り上げるように、教員一同が改善を図っていることを理解してもらっているようです。

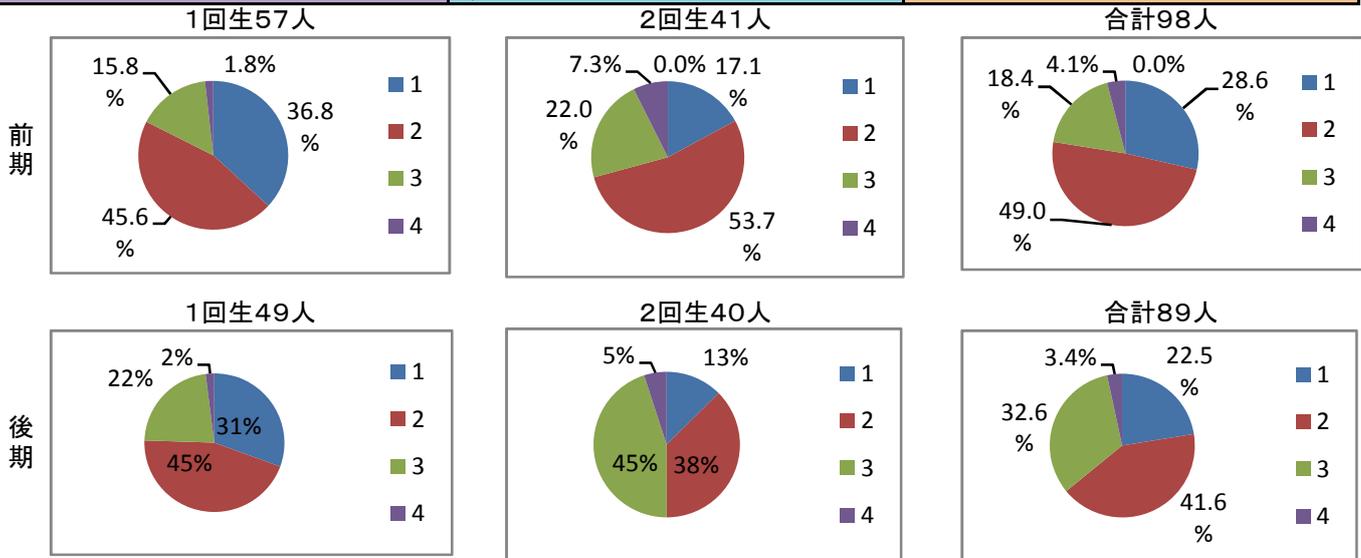
8 履修指導は適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



9 教員や事務局から院生への連絡は、適切でしたか。

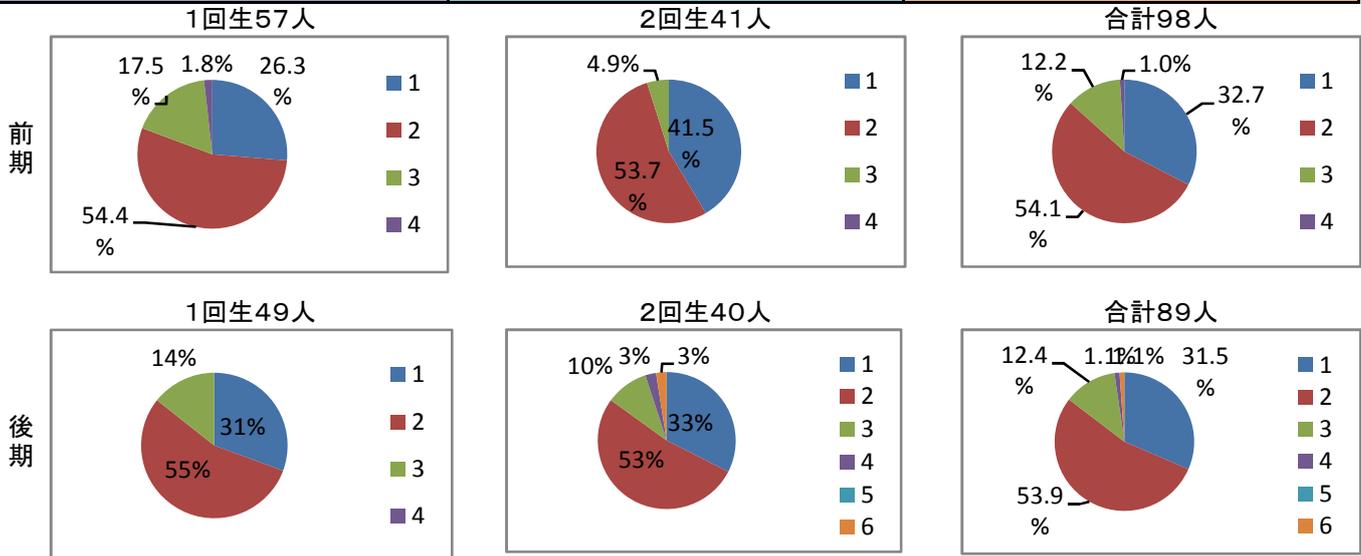
1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



大学院での授業を受けることが少なくなった2回生で、連絡が「あまり適切でなかった」という回答が目立っています。教員間の情報共有が十分でない点が指摘されていますので、今後は一斉メールをさらに配信し、丁寧に連絡を行う等、改善が必要です。また、院生の側も携帯電話での受信体制を整える点等、徹底していただく必要があります。

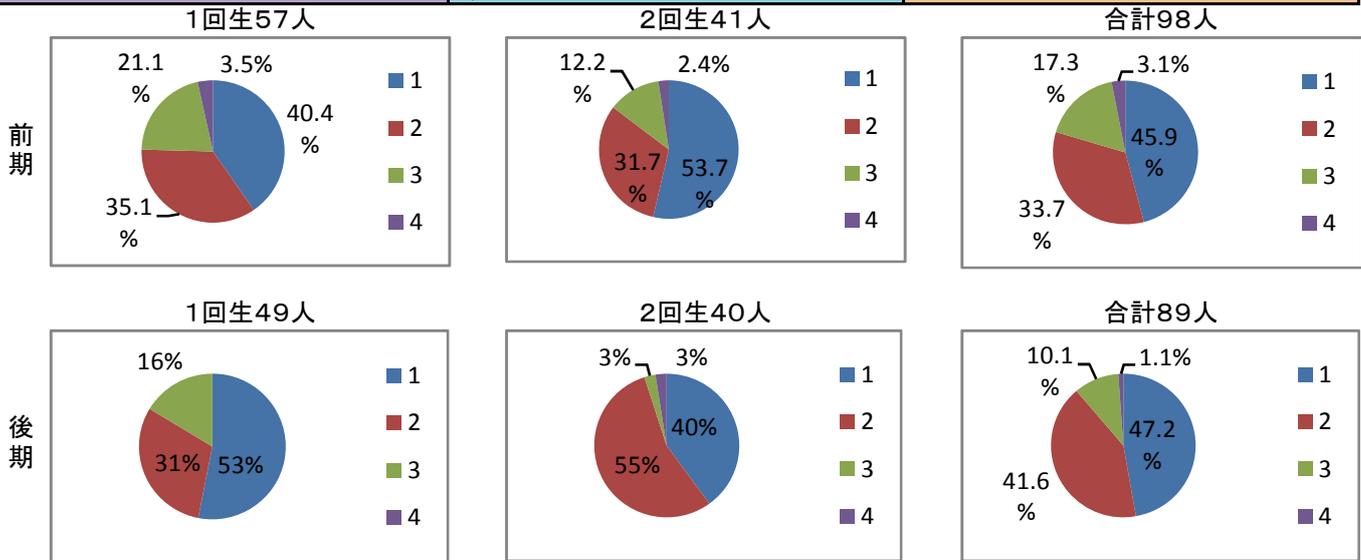
10 教室の設備について施設・設備は適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



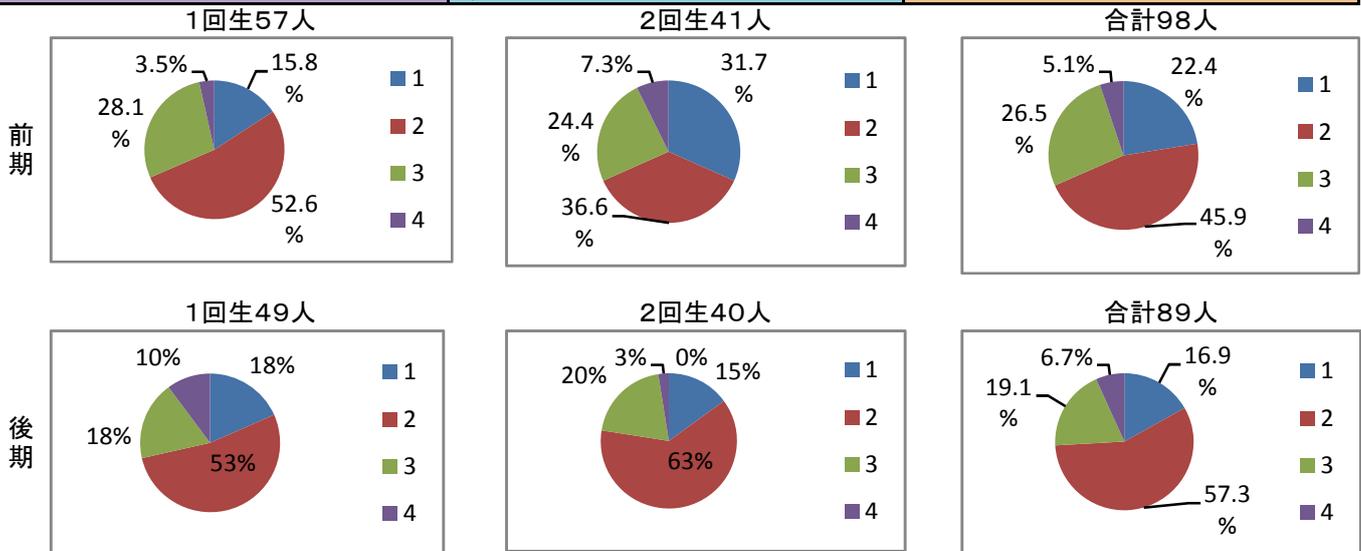
11 院生室の設備について施設・設備は適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5, 無回答	



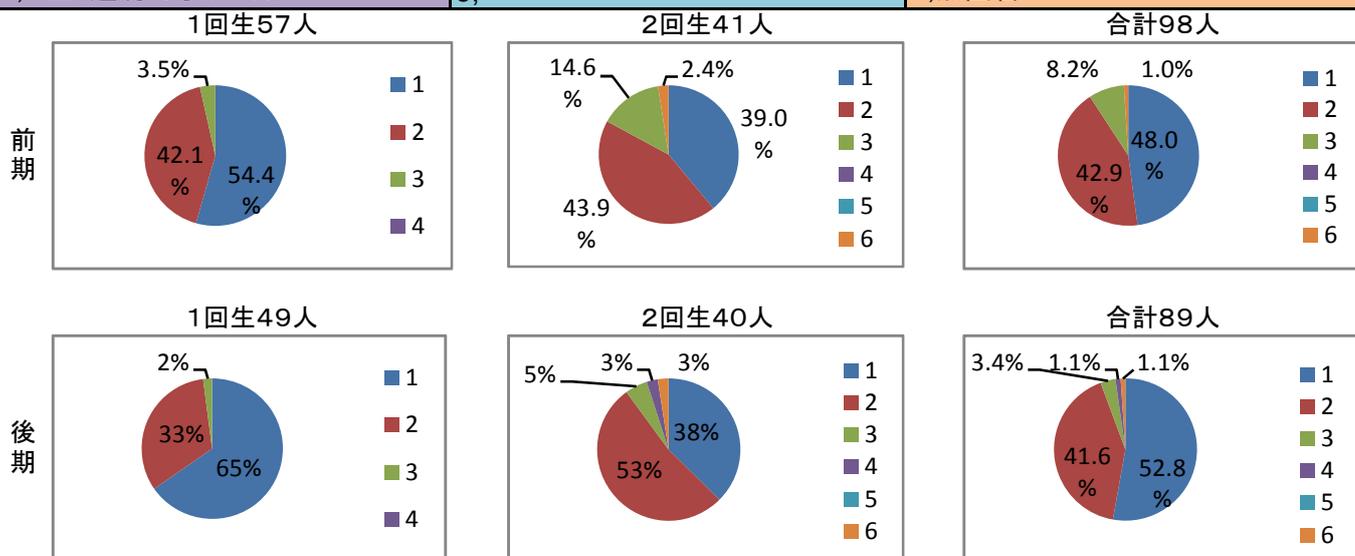
12 大学の設備について施設・設備は適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5, 無回答	



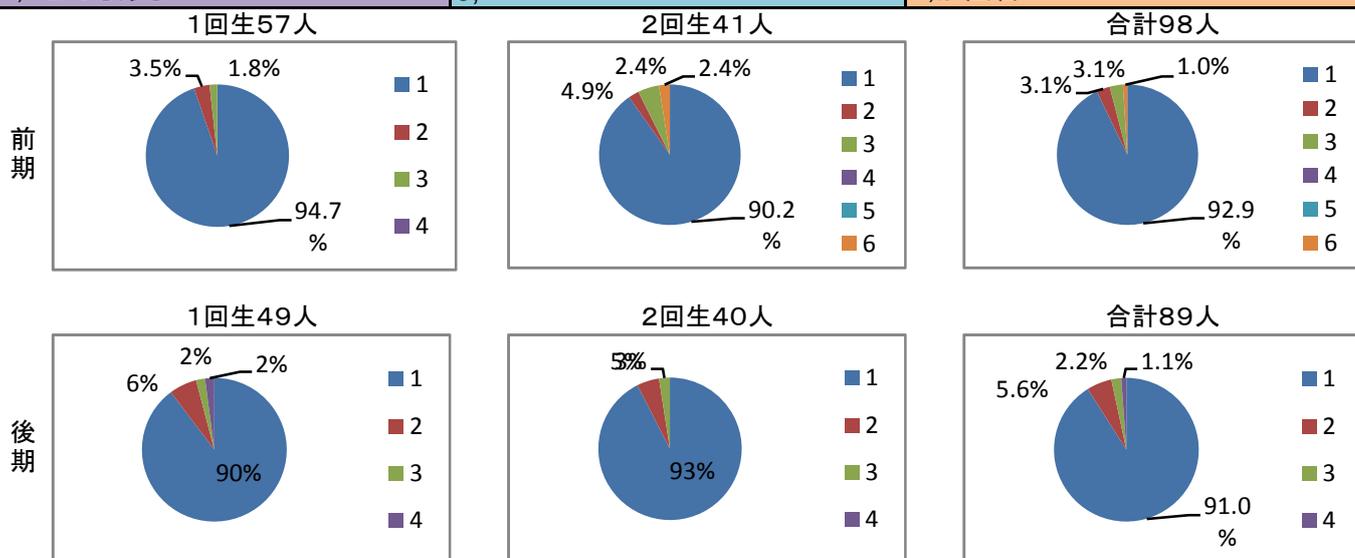
13 教員の授業外での対応は、適切でしたか。

1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



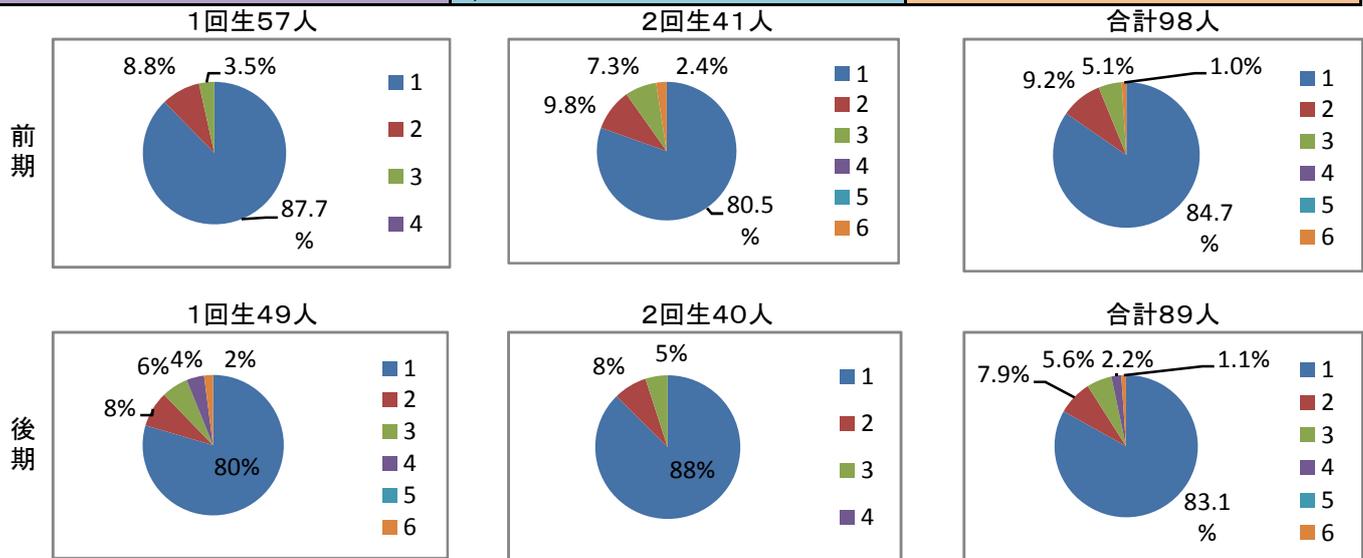
14 授業中あるいは授業外で、教員にセクハラ(性的嫌がらせ)を受けたと感じることはありましたか。

1, 全くない	2, ほとんどない	3, 少しある
4, とてもある	5,	6, 無回答



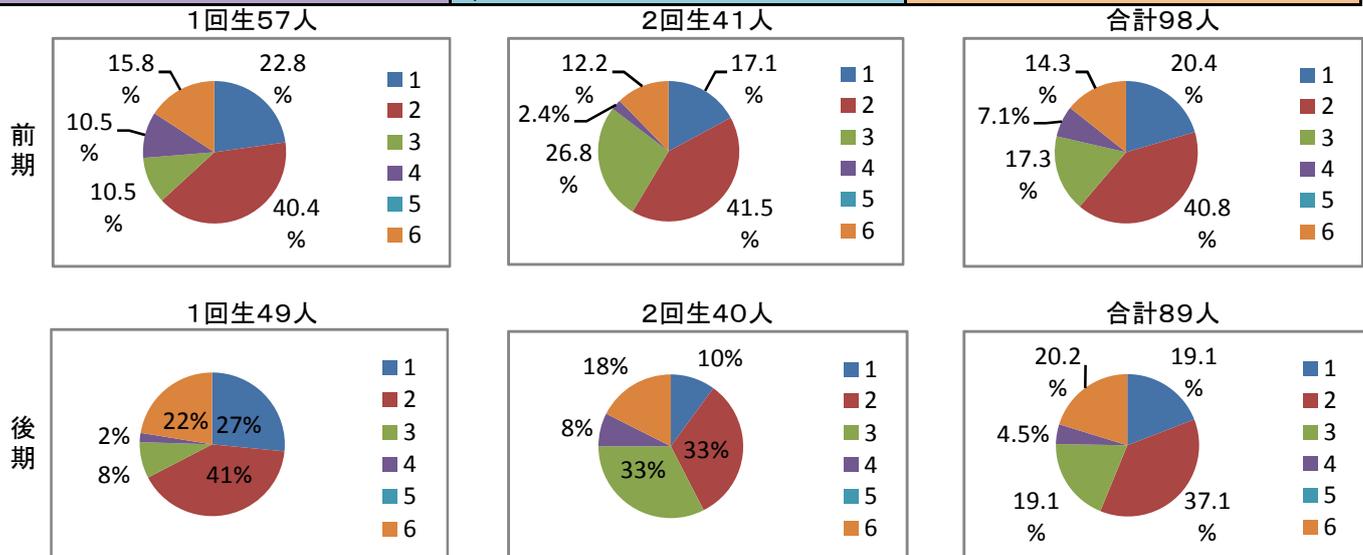
15 授業中あるいは授業外で、教員にアカハラ(教員がその権力を濫用して学生に対して行う嫌がらせ)を受けたと感じることはありましたか。

1, 全くない	2, ほとんどない	3, 少しある
4, とてもある	5,	6, 無回答



16 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。

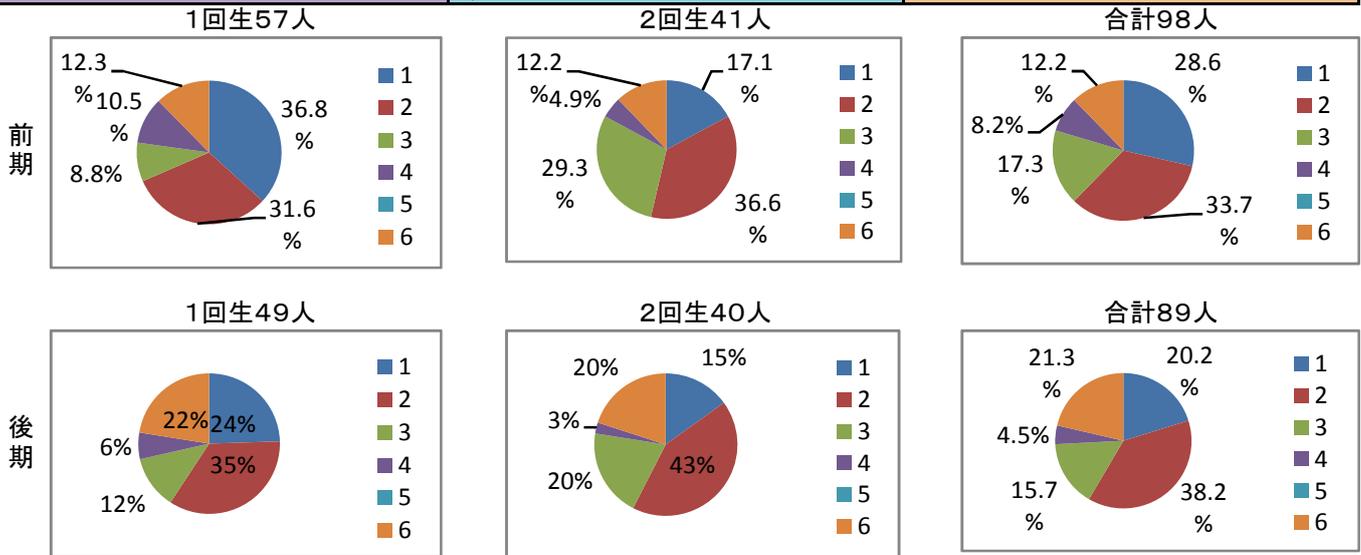
1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



無回答は就職支援の不要な現職者だと思われます。就職支援体制については、特に2回生でやや厳しい評価になっています。発足後間もなかったこともあり、準備が整わなかったこともあると思います。ただ現在懸命に改善している最中であることもお伝えしておきます。

17 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。

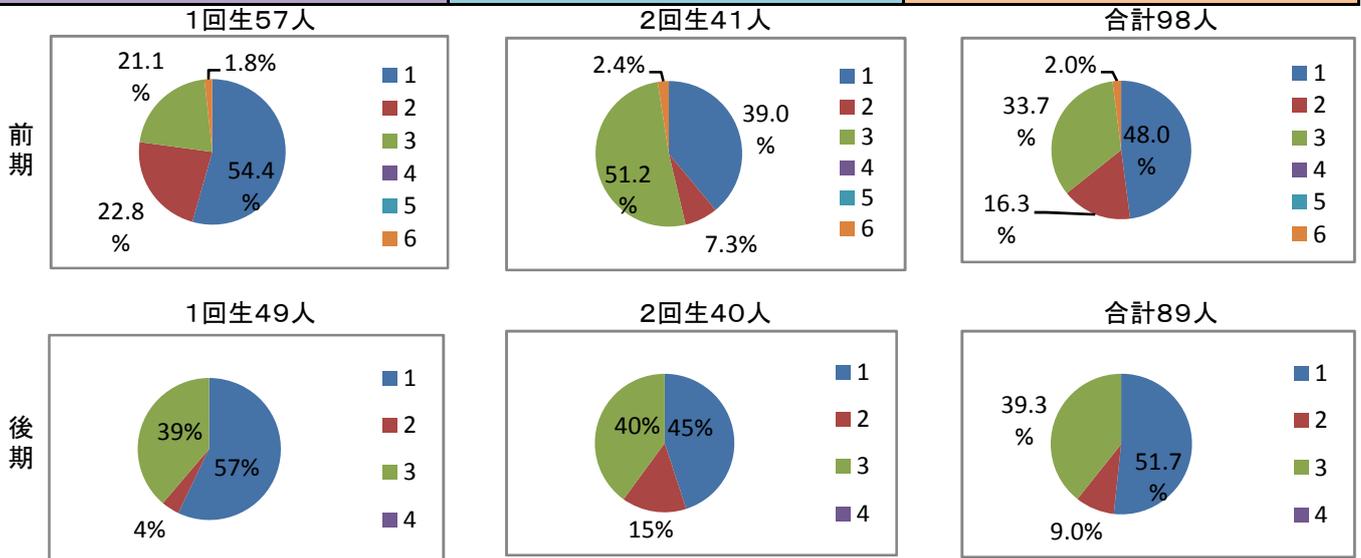
1, 適切だった	2, まあまあ適切だった	3, あまり適切でなかった
4, 全く適切でなかった	5,	6, 無回答



無回答は実習を免除されている現職者だと思われます。この項目についても、2回生でやや厳しい評価となっています。2回生の実習期間は40日と長いものであったため、研究科としても出てきた様々な課題を見極め、改善していく必要があります。

18 京都教育大学大学院連合教職実践研究科では、ほとんどの科目で現職とストレートマスターが一緒になるように授業が組まれていますが、この点いかがですか。

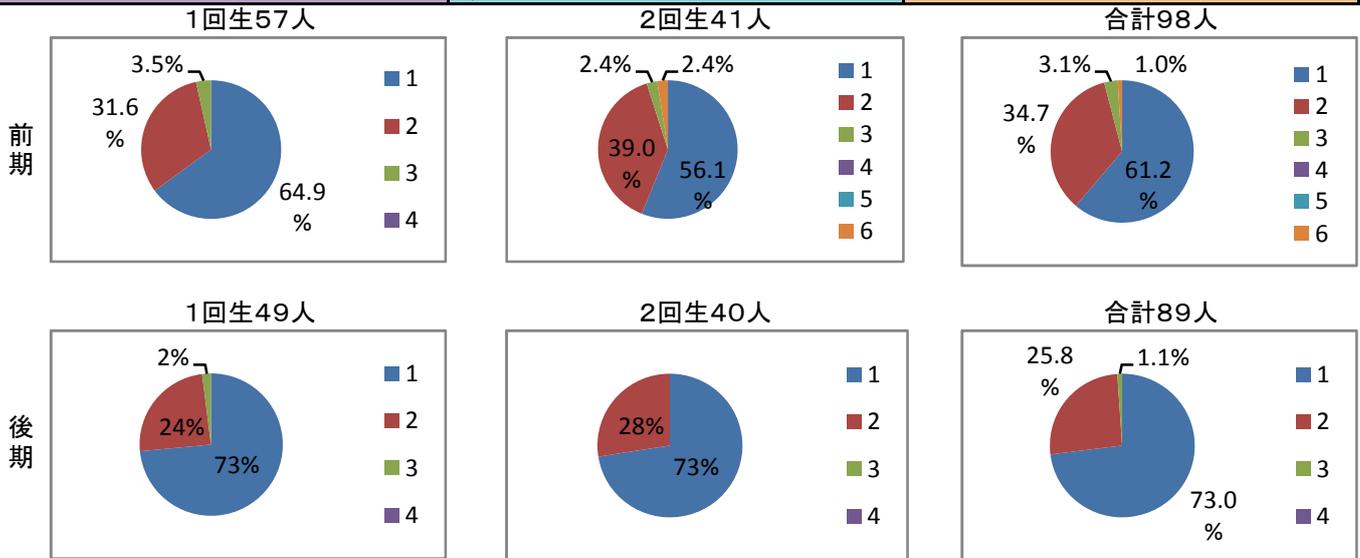
1, このままでよい	2, 分けたほうがよい	3, 科目により分けたほうがよい
4,	5,	6, 無回答



「このままでよい」とした院生が全体の5割を占めた一方で、「科目により分けた方がよい」とした院生も4割見られます。本年度から「学級経営の実践と課題」と「魅力ある授業づくりの実践と課題」を学卒者と現職者で分けましたが、それ以外にも分けた方がよい科目があるのか、検証が必要です。

19 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

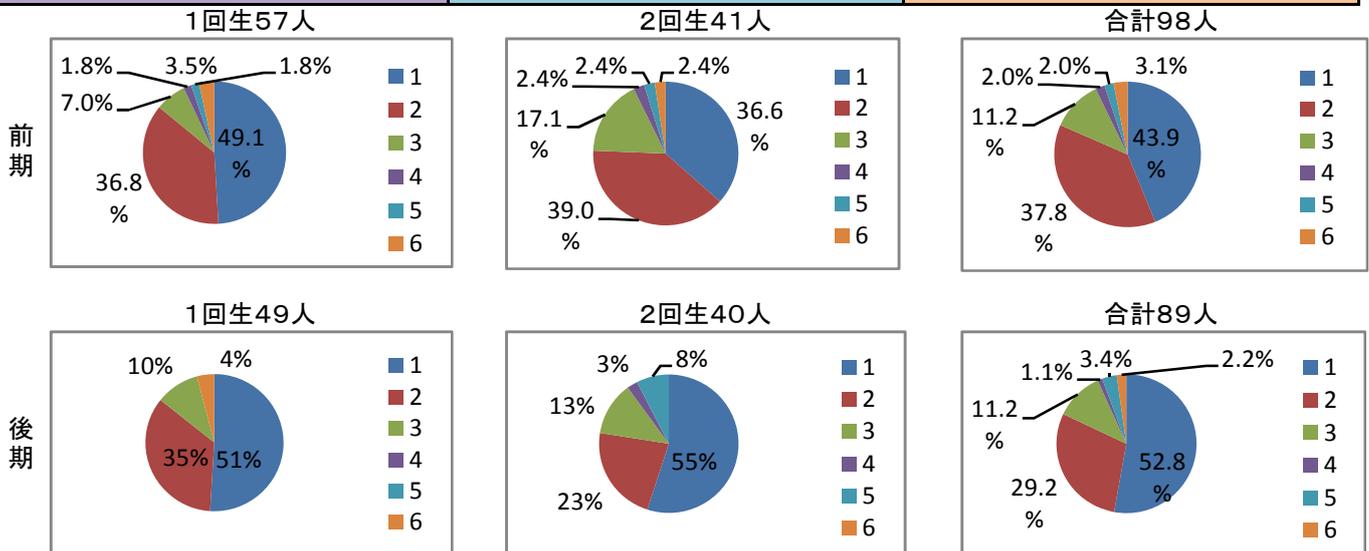
1, とてもためになった	2, まあまあためになった	3, あまりためにならなかった
4, ほとんどためにならなかった	5, 無回答	



ほぼ100%の院生がためになったと答え、なかでも「とてもためになった」とする院生は7割を超えました。昨年と比較しますと、「とてもためになった」が4割から7割に増え、ためになったと強く感じている院生が多いたことが特徴としていえます。

20 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

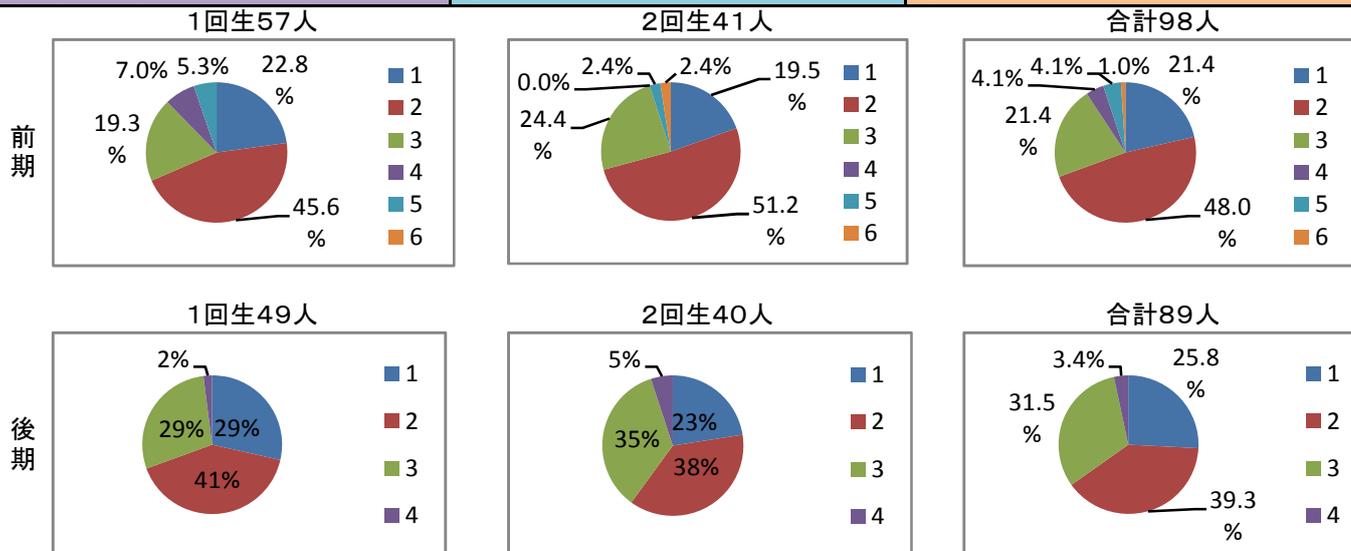
1, とても高まった	2, 少し高まった	3, 変わらない
4, あまり高まらなかった	5, ほとんど高まらなかった	6, 無回答



全体で「とても高まった」「少し高まった」という肯定的回答が、8割の院生に見られます。昨年は、およそ6割が肯定的回答でしたので、2割程度増えたこととなります。また、2回生については1回生の時点で肯定的回答が5割でしたが、修了前の時点で7割五分まで伸びています。これは、2年間の研究科の学びを修了することによって、教員になりたいという気持ちが増したことを示すものです。ここから2年という期間の学びが院生を育てるのに有効に働いたことが読み取れます。

21 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

1, すごく薦める	2, やや薦める	3, どちらとも言えない
4, あまり薦めない	5, 全く薦めない	6, 無回答



昨年と比較しますと「すごく薦める」と強く薦めることを選択した院生が、10.0%から25.8%へ増えたことによって、全体としても14%程度薦めるとする回答が増えています。研究科に対する評価が増したといえます。